

コロナ禍からなかなか抜け出せない状況が続いている一方で、日常生活を徐々に取り戻す兆しも見えてきました。

間もなく年末年始を迎えるにあたり、帰省や旅行等で遠距離のドライブをする機会が増えるかもしれませんね！

そこで今号では、ドライブ時のもしもの時に身を守るシートベルト・チャイルドシートの適切な使用方法を再確認しましょう。

**2008年より後部座席も義務化。シートベルトの着用は全席義務です！**



## 正しいシートベルトの装着方法と非装着の危険性

もし既に知っているとお考えの方も今までの装着方法で間違った点がないか、この機会にチェックしましょう。

### ➤ 運転席・助手席のシートベルトの装着方法・手順

#### 1.正しいポジションに座る

シートの背は倒さずに、腰と肩がシートに密着するように深く腰掛け、体を斜めにしないよう正しい姿勢をとる。

#### 2.ベルトのねじれが無いことを確認してシートベルトを装着

ベルトにねじれが無いように、バックルの金具を音が鳴るまで確実に差し込んで固定する。

#### 3.肩ベルトと腰ベルトの位置を調整

肩ベルトは首にかからないよう鎖骨の中心に通し、腰ベルトは腰骨の低い位置（骨盤を巻くように）に調整する。

#### 4.ベルトのたるみを直す

ベルトと体の間にすき間ができないよう、肩ベルトを肩の方向に軽く引っ張ってゆるみをとる。鎖骨の中心から腰骨にかけて、一直線のラインになればOK。

### ➤ 後部座席のシートベルトの装着方法

#### 1.後部座席のベルトとバックルを確認

一般的には後方に格納されていることが多いが、車種によって異なる場合もあるため、格納位置や固定方法を確認しておく。また、後部座席のシートベルトは座席の中央にあることが多く、左右の見分けがつきにくいいため、差込口とベルトの金具が合わないミスがよくある。差込口と金具に目印を付けるなどの工夫を。

#### 2.シートベルトを装着したら肩と腰を調節

腰と背中をシートに密着させて座り、ベルトの位置、ねじれやたるみを調整する。ベルトの金具が差し込みにくい場合は、体を少し斜めにするで見やすくなる。また、後部座席は追突時の衝撃が大きくなるため、ヘッドレストを目と耳の延長線上の中心にくるように調整するのがポイント。



# シートベルト非装着は危険！

## <運転席・助手席の危険性>

☞事故の衝撃で後部座席の人が前方に投げ出され、運転席・助手席のエアバッグに挟まれて頭部や胸部を圧迫する。



## <後部座席の危険性>

- ☞事故の衝撃で天井や柱、ドアなどに全身を強打する。
- ☞衝撃が大きいと車外に放り出され、後続車にはねられるなど重大な事故の要因になる。



## シートベルト着用が致命傷の盲点に…

➔誤った着用は危険度アップ。後部座席の方がリスクが高いケースもある。

2021年、赤信号を無視したオートバイを追跡していたパトカーが住宅の壁に正面から激突。パトカーには警察官3人が乗車し、全員シートベルトを着用していたが、後部座席に乗車していた警察官が腹の痛みを訴え、病院に運ばれたが5日後に容体が急変し内臓破裂で死亡。オートバイはその場から立ち去り、助手席の警察官は軽傷、運転していた警察官にケガはなかった。パトカーの後部座席には衝撃緩和機能付きのシートベルトは付いていなかった。

このように、着用していればいいという訳ではなく、正しい位置でつけないと胸を打ったり、腹部に食い込んで臓器が損傷する危険性がある。

スペースの問題もあり、後部座席にエアバッグを設置するのは難しい。後席中央を含め、全ての車に3点式シートベルトの設置が義務付けられたのは2012年以降。後部座席の衝撃緩和機能付きのシートベルトに関しては、搭載している国産車はまだ少ないというのが実情。

## チャイルドシートを適切に使用していますか？

幼児は体格が小さく、大人用のシートベルトを適切に使うことができません。また、大人が抱っこしていると、事故の際に子供が車外に放り出されたり、抱っこしている人の体やエアバッグで押しつぶされたりするなど大変危険です。そうした危険から子供を守るために、**6歳未満の子供にはチャイルドシートの使用が義務づけられています**。チャイルドシートには、「乳児用」「幼児用」「学童用（「ジュニアシート」とも）」の大きく3つの種類があり、シートの種類や取り付ける車種・座席によって取り付け方が異なりますので、説明書に従って確実に取り付けてください。

### ◆ チャイルドシートの取り付けは後部座席が基本！

前席（助手席）に取り付けると、事故の衝撃で膨らんだ前席のエアバッグに押しつぶされる危険がある。

### ◆ チャイルドシートの角度やベルトの調節を忘れずに！

子供の体格や体重に応じてシートの向きや角度、ベルトの長さなどを調節し、バックルなどは確実に締める。また、子供の成長は早いので、体格などに応じて適切に調節されているか、時々点検する。



**「車に乗ったらシートベルト！」と習慣付けて、万が一の事故でも被害を抑えられるようにしましょう！**

弊社は損害保険会社7社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。

現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト”  
<https://forms.gle/EXCkVdfkxmLLni7u7>



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。